

- 所属名 / 環境農学研究部門 植物生産科学分野
植物生産科学系
- 研究者名 / 三浦 秀穂
- 職位 / 教授
- 専門分野 / 植物遺伝・育種学、物生産学、
植物ゲノム科学

キーワード：小麦・穂発芽・小麦粉品質

TEL：0155-49-5476 FAX：0155-49-5593

Email：miurahm@obihiro.ac.jp

研究内容の特徴

北海道の広大な畑作地帯を背景とする研究から、「農利万民」を目指し今後予想される世界規模での食料不足や食の安全について、栽培植物側からの遺伝・育種学的アプローチで対応策を探っていきます。

技術アピール・マッチングニーズ

○コムギ祖先種および近縁種の育種ポテンシャル
コムギの改良には野生種や近縁種のもつ優れた遺伝子資源を利用することが重要で、世界各地の遺伝資源を集め、それらの早晩性や品質評価をするとともに、栽培化に大きく貢献した主要な遺伝子の解析を行っています。野生種から栽培種へと進化するときどのような遺伝子の変異が鍵となるか探ろうとするものです。

○穂発芽耐性コムギ品種の開発

穂発芽は、低温・多湿な気象条件で種子が成熟するとき発生し易く、世界のコムギ生産地帯で問題となっています。穂発芽被害の回避には、発芽し難いつまり休眠性の強い品種を育種することが必要です。ゲノム情報やDNAマーカーを頼りに強休眠性遺伝子を活用して穂発芽耐性育種の加速化をねらっています。



左：穂発芽耐性コムギ品種
中央、右：通常コムギ品種